

令和5年度 創造調和

令和5年4月7日
半田市立半田中学校
第1号
学校だより

「半中最幸」 やった！ よかった！ しんどかったけど楽しかった！！

校庭の木々にも新芽が伸び、春の息吹が感じられるようになりました。学年が変わり、学級の仲間が変わり、担任の先生が変わり、今日からいろいろなものが変わります。皆さんの心は変わりましたか。周りの変化とともに、新しい自分を見つけましょう。新しい目標を掲げて、新しい自分を探しましょう。新しい自分は、未来の自分の夢にもつながります。今年度も、自分を信じて学び続ける姿を期待しています。

さて、今年度の半田中学校の教育目標を、次のように掲げました。

「半中最幸」

～やった！ よかった！ しんどかったけど楽しかった！！～



学校は、誰もが幸せになるためにある場所だと思っています。では、皆さんにとって幸せとは何でしょうか。皆さんが幸せになるにはどうしたらよいでしょうか。

私は、「**やった！ よかった！！ しんどかったけど楽しかった！！**」という気持ちを味わうことができれば、幸せを感じることはできないのではないかと考えます。「やった！」とは、何かを成し遂げた喜びや感動です。「よかった！」とは、居心地のよさや安心感です。「しんどかったけど楽しかった！！」、私は、これが一番大切だと思っています。一瞬の喜びではなく、本当の喜びとは、自ら困難に立ち向かい、それをみんなと一緒に乗り越えたときに味わえるものだと思います。

「一人で見るとはただの夢。みんなで見る夢は現実になる。」という言葉があります。3年生は、最後の郡大会、そして入試を迎えることとなりますが、郡大会も入試も「みんなで見る夢、みんなで叶える夢」であってほしいと思います。しかし、夢を叶えるその過程には、きっと辛いことも多々あると思います。「辛」という字に「一」を付け足すと、「幸」という字になります。辛いことがあっても、一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組んでいけば、きっと「半中最幸」という目標に近づけると思います。また、「幸」という字は、180度ひっくり返して見ても「幸」と読めます。どちらの立場から見ても変わらない幸せこそが、みんなが求める幸せです。では、それはどんな幸せなのでしょう。一緒に考えていきましょう。

